

北京ディスクゴルフ講習会活動報告書

福田孝一 JPDGA#2514

PDGA#102802



JPDGA 会員の皆様

日頃より、ディスクゴルフの普及と発展にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

このたび、2025 年 5 月 27 日から 6 月 2 日までの日程で中国・北京にて実施された、JPDGA 所属の梶山学選手および私、福田孝一による講習会について、ご報告申し上げます。

まず初めに、本イベントの開催にあたり、多大なるご支援を賜りました Huddler Discgolf の皆様、ならびに現地で温かく迎えてくださった中国の関係者および参加者の皆様に、心より御礼申し上げます。

講習会のスケジュールは以下の通りです。なお、全日程において通訳の方が同行してくださり、言語面での不安を感じることなく、充実した 1 週間を過ごすことができました。

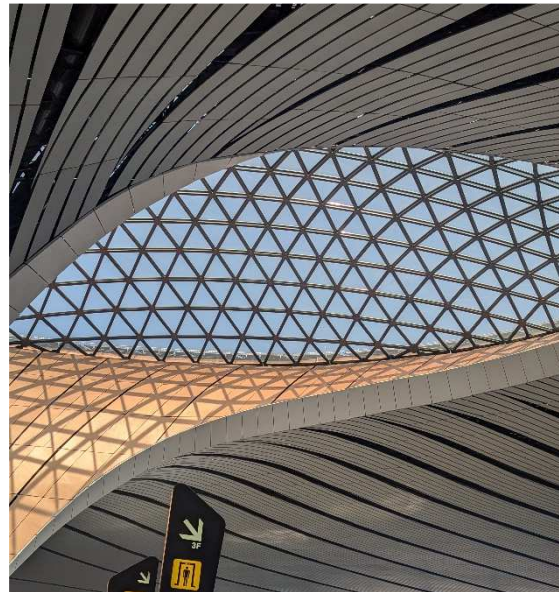
日時		目的	場所	備考
5/27	AM	渡航	中部国際空港	
	PM		北京大興国際空港	
5/28	AM	観光	紫禁城	
	PM	講習会	北京航空航天大学	参加者 60 名
5/29	AM	メディア撮影	国家テニスセンター	
	PM	講習会		参加者 40 名
5/30	AM	講習会	火车后院飞高公園	参加者 14 名
	PM			参加者 10 名
5/31	AM	講習会	火车后院飞高公園	参加者 10 名
	PM		温榆河公園	参加者 1 名
6/1	AM	観光	万里の長城	
	PM	送別会	灶和（レストラン）	
6/2	AM	帰国	北京大興国際空港	
	PM		中部国際空港	

5月27日

目的：渡航

場所：中部国際空港 → 北京大興国際空港

北京大興国際空港は2019年に開港され、2022年の冬季オリンピックに向けて整備された新しい空港です。ターミナルビルは世界最大級とされており、その規模と近未来的な設計に圧倒されました。



5月28日 午前

目的：観光

場所：紫禁城

世界遺産である紫禁城は、明王朝から清王朝にかけて約500年間にわたり歴代皇帝が居住していた宮殿です。現在も改修が施されているとはいえ、600年以上前に建築されたとは思えないほど美しく、かつ壮大な建造物群でした。



※なお、スポーツ関連で海外からの来訪者を観光に案内することで、国の関連団体から補助金を得られる場合もあり、今後のスポーツ普及・発展にも繋がるということです。

5月28日 午後

目的：講習会

場所：北京航空航天大学

対象：学生および教員

北京を訪問して初めての講習会ということもあり、私たちはもちろん、現地スタッフ共に少し緊張がありました。また国家重点大学ということもあり、エリート教育を受ける学生たちがディスクゴルフに対してどのような印象を受けるのか少し不安もありました。しかし私の簡単な中国語での挨拶でクスッと笑う表情、梶山選手のデモンストレーションを見て驚く表情、ディスクを投げて楽しむ笑顔を見ていたら、いつの間にか私たちの緊張感はなくなり、既に1つのチームとなっていました。スポーツと笑顔に、世代も国境もありません。まずは最高のスタートを切った1日となりました。



5月29日

目的：メディア撮影および講習会

場所：国家テニスセンター

対象：アルティメットスクールの学生

2008年の北京オリンピックの際に建設された国家テニスセンターにて、メディア撮影、セレモニー、そして講習会を実施しました。実際にオリンピックで使用されたコートに立つだけで、まさに夢の舞台にいるような感動と高揚感がこみ上げました。



JPDGA のフラッグを飾ることができたオープニングセレモニーでは、アルティメットスクールの学生や関係者の皆様の前で、梶山選手と共に簡単に自己紹介をさせていただきました。なお、この模様は北京のテレビ局でも放送されたとのことで、北京市の人口が2,000 万人以上であることを踏まえると、数百万人規模の視聴者に届いた可能性もあります。



5 月 30 日

目的：講習会

場所：火车后院飞高公園

対象：ディスクゴルフ競技者および愛好者

20 代から 70 代まで幅広い年代の参加者が集まりました。ディスクゴルフは年齢を問わず気軽に始められるスポーツであり、特にコロナ禍では密を避けながら楽しめるという理由で、アメリカを中心に急速に広まりました。その影響は中国にも波及しているようで、活気ある講習会となりました。



参加者の中には、私の日本での実績を知っている方も数名おり、中高年の参加者も多かったことから、私自身が 50 歳を迎えた今、ディスクゴルフを長く続けるための秘訣について簡単にスピーチをさせていただきました。

参加者・主催者の皆様からも高い評価をいただき、心に響く講習となったようです。



5月31日 午前

目的：講習会

場所：火车后院飞高公園

対象：ディスクゴルフ競技者および愛好者

この日の参加者は比較的若い世代が中心で、保護者に見守られながら小学生2人が参加してくれたのが印象的でした。今回の中国滞在中に出会った参加者に共通して言えるのは、誰もが力強く、そして伸び伸びとディスクを投げているということです。一方で、日本の公園では近年、キャッチボールすら禁止されている場所も増えており、子どもたちが自由に遊べる環境が限られてきています。この違いは、両国の国土の広さや公共空間の使い方の違いにも起因していると感じました。



5月31日 午後

目的：講習会

場所：温榆河公園

対象：ディスクゴルフ競技者

午後は、より広大で自然豊かな「温榆河公園」へ場所を移し、講習会を実施しました。この公園には、なんと 54 ホールのディスクゴルフコースが整備されており、日本のプレイヤーからすれば憧れる施設です。残念ながら講習会の実施時間の都合上、その広さを実際に体験することはできませんでしたが、園内にはディスクゴルフ専用のクラブハウスも完備されており、地元のプロ選手による有料講習会も定期的に開催されているとのことでした。中国ではディスクゴルフ市場がより活発に拡大していることを肌で感じる事ができました。



6月1日 午前

目的：観光

場所：万里の長城（慕田峪長城）

北京市中心部から車で約 2 時間の距離にある、万里の長城の一部・慕田峪長城を訪れました。欧米をはじめとする多くの国からの観光客で賑わい、まさに「世界遺産」としての風格を感じさせる場所でした。

慕田峪長城は「キングダム」で知られる始皇帝の時代ではなく、明王朝時代（約 600 年前）に建築された部分とのことです。21,196km にも及ぶ万里の長城のほんの一部かもしれませんが、目の届く限り果てしなく続くその姿からは、約 2,200 年の歴史のロマンを感じずにはいられませんでした。



6月1日 午後

目的：送別会

場所：灶和（レストラン）

主催者、カメラマン、通訳のスタッフ皆様が私たちのために送別会を開いてくださいました。レストランの裏庭に広がる自家農園で収穫された野菜と、窯で燻製された肉料理、そして窓から見える美しい景色が、過密スケジュールを乗り越えた私たちを癒やしてくれました。

1 週間を共に過ごしたスタッフの皆様とは、まるで家族のような不思議な絆が芽生えたように感じました。



6月2日

目的：帰国

場所：北京大興国際空港 → 中部国際空港

空港での出国手続きは、すべて現地スタッフの方々が対応してくださり、滞りなく無事に出国することができました。最後まで見送りをしてくださったスタッフの皆様に、心より感謝申し上げます。

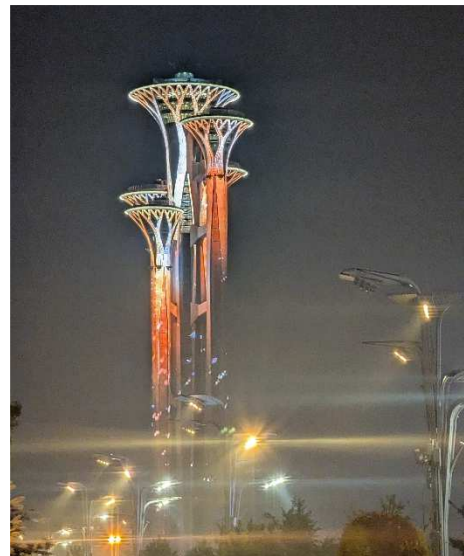
最後に、

今回のイベントの招待状を受け取ったとき、日本の代表としての使命感が湧き上がると同時に、正直なところ初めて訪れる中国大陆に対する不安がまったくなかったとは言えません。中国大陆で初めて日本人プレイヤーを招待してイベントを開催するのです。現地スタッフもきっと同じように期待と不安の中で日々準備をしてくれていたことは想像できます。主催者の1人である Jumping 選手(PDGA237772)は、Japan Open Disc Golf 2023 に出場して以来、JPDGA のトーナメントに出場するために何度も日本に足を運び、日本人選手との交流を深めてきました。彼女の日本に対する敬意と理解がなければ、今回の北京訪問は実現しませんでした。改めて Jumping 選手に心より御礼申し上げます。

私たちが初めて見た北京は、2008年・2022年と二度のオリンピック開催を経て、国際都市として近代化が進んでおり、私たちの想像をはるかに上回る発展を遂げていました。現地スタッフの方々は、口をそろえてこう話してくれました。

「スポーツの偉大な力に感謝している。」

現代の中国に生き、国際社会の扉を開いている人々は、海外や日本の文化を積極的に取り入れており、柔軟で前向きな姿勢を感じました。



そして何より、この旅を通じて私が強く実感したことがあります。

言葉は通じなくても、スポーツを通じて生まれる笑顔、共に美味しい食事を囲む中で生まれる笑顔は、万国共通であるということです。これからも、ディスクゴルフと笑顔を武器に、好奇心を持って世界へ挑戦し続けていこうと思います。

今後とも、変わらぬご支援・ご声援のほど、よろしくお願いいたします。

福田孝一